

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 5 月 29 日 (2014.5.29)

【公表番号】特表 2013-526635 (P2013-526635A)

【公表日】平成 25 年 6 月 24 日 (2013.6.24)

【年通号数】公開・登録公報 2013-033

【出願番号】特願 2013-510171 (P2013-510171)

【国際特許分類】

C 0 8 L 27/06 (2006.01)

C 0 8 L 63/00 (2006.01)

C 0 8 L 27/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 27/06

C 0 8 L 63/00 A

C 0 8 L 27/04

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 4 月 10 日 (2014.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フタレート系可塑剤および非生化学的可塑剤をいずれも実質的に含まない組成物であって、

組成物の全重量に対して 20 から 80 重量パーセントのポリビニルクロライド樹脂；

組成物の全重量に対して 1 から 30 重量パーセントの相溶化剤；および

組成物の全重量に対して 5 から 60 重量パーセントの生化学的可塑剤を含み、

前記生化学的可塑剤が植物油のアセチル化誘導体および植物油のエポキシ化誘導体を含み、前記植物油のアセチル化誘導体および植物油のエポキシ化誘導体が組成物の全可塑剤含有量の少なくとも 50 重量パーセントを占める組成物。

【請求項 2】

前記生化学的可塑剤が、前記組成物の全重量の少なくとも 15 重量パーセントを占める、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

熱可塑性エラストマーを更に含む、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記相溶化剤が塩素化ポリエチレンを含む、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 5】

請求項 2 に記載の組成物を含む外被層または絶縁層を含む、ワイヤまたはケーブル。